

には沿道の住民一人一人の理解を要する。長期的に協議を進めていく。

議員 三鷹駅南口ロータリーに、車椅子対応のタクシーにスムーズに乗降できる乗り場を整備するよう、以前より求めてきた。その後の検討状況を伺う。

市長 基本計画の改定等の



民主緑風会
小幡 和仁 議員

議員 地方交付税の制度改善に向けた国等への働きかけと、実効性のある新たな取り組みについて伺う。

市長 本市独自の実効性ある手だてはないが、制度改善については全国市長会を通じて問題提起していく。

議員 ふるさと納税による本市の歳入減は本年度6億7千万円になると試算されている。本市でもふるさと納税を増やす努力をすべきと考える。所見を伺う。

市長 三鷹の魅力を感じてもらえるような返礼品のあり方について関係機関と連携しながら、議論を進めている。先進事例に学びながら実行していきたい。



人に優しく、もっと住みやすいまちづくりを

中で市民、事業者の意見をしっかりと聞き対応する。

議員 視覚障がいのある無に関わらずに理解できる新しい点字、ブレイクノイエを市内公共施設に取り入れ、広めるべきではないか。

都市整備部長 他自治体の事例や利用者の声を確認し、検討していく。



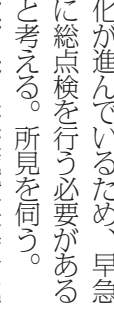
日本共産党
前田 まい 議員

議員 胃がん検診について本年度から内視鏡検査が選択できるようになったが、申込期間が1カ月間と短く後ろ向きな対応と言わざるを得ない。所見を伺う。

保健医療担当部長 本年度の受け付け・問い合わせ状況や受診の実績等を踏まえ、一層適切な申込期間の設定と周知に努めていく。

議員 女性のがん死因の第1位は大腸がんである。大腸がん検診への内視鏡検査導入について所見を伺う。

保健医療担当部長 現時点では考えていないが国の定める指針を基本に、医師会から専門的意見をもらいながら適切に実施していく。



井口特設グラウンドの存続と市民要望の実現を

もたちの健康と命を守るために必要不可欠であり、緊急に対応する必要があると考える。所見を伺う。

教育長 補助金が令和3年度までと期限があるため、総合的に検討しながら早期の対応を図っていく。

議員 子どもたちが過ごす学校の施設は全面的に老朽化が進んでいるため、早急に総点検を行う必要があると考える。所見を伺う。

教育長 学校施設長寿命化



日本共産党
大城 美幸 議員

議員 井口特設グラウンドには取得等に当たり1億2千万円が費やされた。売却計画を撤回し市民の大切な財産として存続させるべきだ。

市長 公約で全部は売却しないと言っている。現在課題を整理しており、一定の方向性がまとまった段階で議会に提示し議論したい。

議員 土ほり対策に優れた表層材がある。当グラウンドであれば約2カ月、1千200万円ほどで施工可能と聞く。苦情に対応するため早急に整備すべきだ。

スポーツと文化部長 今、閉鎖し整備することは難しい。将来的なグラウンド利用等を勘案し検討したい。



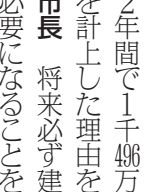
よりよい介護が実践される三鷹のまちを

計画の策定と各学校に必要な改修を実施し、適正な教育環境の確保に努める。

議員 市庁舎の建て替えを踏みとどまった今こそ、学校の建て替えや整備を進めるべきだ。所見を伺う。

市長 平成30年度に実施した施設・設備の老朽化等の調査結果や防災都市づくりの視点を踏まえ、早期に改修、整備に取り組んでいく。

その他の質問 三鷹駅のホームドア設置について



日本共産党
野村 羊子 議員

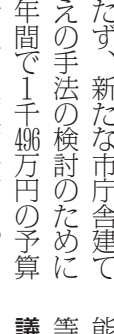
議員 井口特設グラウンド周辺の西部住区は東西道路の整備が課題だ。グラウンド内に東西通路を新設すべきだ。

都市再生部長 利用者との関係や安全管理等の課題もあるが、今後検討していく必要があると考えている。

議員 防災拠点機能を付加するため、敷地内未利用地にトイレの新設、備蓄倉庫等の設置を検討すべきだ。

都市再生部長 効果はあると考えるが、当グラウンドのあり方を慎重に検討していく段階なので現時点での整備は考えていない。

その他の質問 上連雀三丁目暫定集会所の整備について



持続可能な未来を創るまちづくりを求める

よくする、介護の質をよくしていくことが求められている。デイサービスの実態把握はしているか。6年に1回の訪問ではしているといえない。調査を求める。

健康福祉部調整担当部長 デイサービスの内容は介護サービス事業者ガイドブックに掲載している。今後も介護保険事業者連絡協議会等と協力し、介護サービスの



日本共産党
伊沢 けい子 議員

議員 水道水へのマイクロプラスチックの混入が社会問題となっている。水道水の安全確保について、事業者である都に積極的に働きかけるべきだ。都に申し入れを行ってきたか伺う。

市長 申し入れは行っていない。情報共有や課題の調整は行っており、状況に応じて申し入れを行う。

議員 マイクロプラスチックは回収が難しく、投棄されてからの対策は困難だ。使い捨てを当然とするビジネスモデルに起因するプラスチックによる海洋汚染対策は、一刻を争う。使い捨

質の向上等に取り組む。実態把握の調査については今後検討したい。

議員 男性が喜んで参加できるデイサービス等を実施すべきだ。特別養護老人ホームどんぐり山を存続させ介護の質を向上させる拠点にできないか所見を伺う。

市長 介護事業者の多様で積極的な活動に期待し、必要に応じて協働の取り組みを進めたい。当該施設廃止後の対応については有識者の意見も聞きながら有効な活用について検討したい。

議員 介護・福祉の質を向上させるための市独自の取り組みについて伺う。

健康福祉部調整担当部長 認知症施策について検討する組織の立ち上げなどを通じ、本市独自の効果的な取り組みを進めていく。

市庁舎等「今ある建物を大切に長く使う」ために

いのちが大事
伊沢 けい子 議員

郵便株式会社との協定も破棄すべきだ。所見を伺う。

市長 今協定を破棄する考えはない。今後の連携の可能性も含め丁寧な話し合い等を行い判断していく。

議員 旧総合保健センターは耐震基準1.5値0.6以上を満す。今ある建物を生かして休日診療所・休日調剤薬局等に利用すべきだ。

健康福祉部長 三鷹中央防災公園・元気創造プラザに係る財政負担軽減のため売却する方針に変更はない。

議員 当初予算から市庁舎建て替えの基本構想等策定に係る予算3千700万2千円を減額したのであれば日本



デイサービスの様子



いのちが大事
鳴崎 英治 議員

議員 水道水へのマイクロプラスチックの混入が社会問題となっている。水道水の安全確保について、事業者である都に積極的に働きかけるべきだ。都に申し入れを行ってきたか伺う。

市長 申し入れは行っていない。情報共有や課題の調整は行っており、状況に応じて申し入れを行う。

議員 マイクロプラスチックは回収が難しく、投棄されてからの対策は困難だ。使い捨てを当然とするビジネスモデルに起因するプラスチックによる海洋汚染対策は、一刻を争う。使い捨



いのちが大事
野村 羊子 議員

議員 三鷹駅南口中央通り東地区再開発は、タワーマンション建設ではなく、様々な層の人が住めるまちづくりを目指すべきだ。

市長 様々な人の意見等を聞き、地権者の希望と調整をしながら、いろいろな夢を現実の中でどう具体化していくか探していきたい。

議員 市は女性向けの「こころの相談室」を実施しているが、回数制限を設けている。心の問題は簡単に解決するものではない。また、行政が行う無料の相談だからこそ相談につながっていることもある。回数

制限は問題ではないか。

企画部調整担当部長 新規相談の予約が取れない状況が続いたため回数制限を設けた。カウンセラーが必要と判断した場合は、原則5回を超え運用している。

議員 東京外環道路工事に於いて、三鷹地域の地下は様々な地層が折り重なっており、気泡シールド工法を行うことはリスクが高いのではないかと所見を伺う。

都市再生部長 事業者は、地質状況に応じて安全な掘進方法を確認しながら進めるとしている。引き続き安全な施工を求めたい。